



平成 13 年 11 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社システムソフト
代表者の役職名 代表取締役社長 伊藤光邦
(登録銘柄 コード番号 7 5 2 7)
問い合わせ先 福岡管理本部長 緒方友一
T E L 0 9 2 - 7 1 4 - 6 2 3 6

平成 14 年 3 月期中間並びに通期の業績予想の修正について

最近の業績の動向を踏まえ、平成 13 年 5 月 16 日付「平成 13 年 3 月期決算短信」で公表いたしました平成 14 年 3 月期（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）の中間期業績予想並びに平成 13 年 7 月 27 日付「合併に関するお知らせ」で公表いたしました通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 13 年 9 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	1,060	1	1
今回修正予想（B）	1,117	179	182
増減額（B - A）	57	180	181
増減率（%）	5.4		
（ご参考） 平成 12 年 9 月中間期	986	156	175

2. 通期業績予想の修正（平成 13 年 4 月 1 日～平成 14 年 3 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	3,053	131	127
今回修正予想（B）	2,620	146	151
増減額（B - A）	433	277	278
増減率（%）	14.2		
（ご参考） 平成 13 年 3 月期	2,114	296	73

3．修正の理由

上期においては、経済環境全般の悪化により、企業活動、個人需要とも低迷し、それに伴い電子辞典パッケージ売上が計画を大幅に下回りました。また、技術者の採用が計画より遅れ、開発の一部を外注化したことなどにより粗利が悪化いたしました。また、合併に伴う経費の発生も加わった結果、当初の中間期業績予想を下回る見通しとなりました。

下期につきましても、テロ事件、狂牛病等の要因も重なり、経済の回復は遅れることが予想されております。当社の業績においては、合併効果などにより下期の収益は一部改善されるものの、上期の未達分を回復させるのは難しい見通しであり、当初の通期業績予想を前述のとおり修正いたします。

以上